

ラーニングテクノロジー開発室

ニュースレター

「授業実践たんけん隊」 教育改革が進む帝京大学理工学部

この春卒業した学生が中心となって企画・制作した標記のDVDビデオは、帝京大学理工学部において進められているラーニングテクノロジーを活用した授業改善を紹介したものです。

「理解度の高い授業の提供」、「学生の自己学習力の育成」を目指し、授業へのeラーニング導入を支援するLT開発室の取り組みも3年半が過ぎました。コース管理システムWebCTを導入したのは、その前年です。この春卒業した学生は、1年生からずっと、コース管理システムを活用した授業を履修してきました。彼らが4年生になったときに、これまで履修してきた授業の感想を聞くと「コース管理システムは日々の予習・復習に大変役に立った」、「多くの授業で取り入れて欲しい」といったポジティブな感想ばかりでした。そうした実感を、学生の視点で紹介するDVDを作ってみないかと誘ったのがこの企画の始まりでした。

2006年の夏から、学生たちは、何度も会議を重ね、担当教員や低学年の学生への取材をして、脚本を練り、セリフ、コマ割り、絵コンテ書きを進めて

いきました。11月から12月にかけて行った撮影には、理工学部映画研究会の学生の協力を得ました。仕上げのナレーションやパッケージ化と包装はプロに依頼しましたが、学生主導で作上げた作品です。制作に携わった学生たちは「大変だったけど、自分たちが考えたものが作品に仕上がるのは楽しい」と述べており、満足した様子でした。是非、ご覧になってください。



この場をお借りして、このDVDの作成にご協力いただきました教職員の方々に感謝申し上げます。
(渡辺博芳)

このDVDのご希望やお問い合わせについては、以下までご連絡ください。

電子メール LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp
電話 028-627-7243

NEWS

◆ 私情協 平成19年度発表会、大会 発表者募集

私情協主催による平成19年度「全国大学IT活用教育方法研究発表会」、「大学教育・情報戦略大会」の発表者募集が始まっています。

発表申込みの締め切りは以下になっています。詳細は、私情協のサイトをご覧ください。

- ・ 全国大学IT活用教育方法研究発表会
開催日：7/7 申込み締切：5/7必着
<http://www.juce.jp/LINK/taikai/07happyo/>
- ・ 大学教育・戦略情報大会
開催日：9/5 申込み締切：5/10必着
<http://www.juce.jp/LINK/houhou/>

◆ アクティブラーニングワークショップ 報告

3月26日に、東京大学 大学総合教育研究センターマイクロソフト先進教育環境寄附研究部門の主催するアクティブラーニングワークショップが、東京大学本郷キャンパスにおいて開催され、本学からはLT開発室 古川助教が参加しました。

本ワークショップでは、タブレットPCを使って効果的な授業を行うための様々なソフトウェアについての紹介がありました。

◆ コラボレイティブ・マネジメント型 情報教育フォーラム 報告

2月23日(金)に慶応義塾大学三田キャンパスにおいて、標記フォーラムが開催され、本学からは荒井准教授、渡辺准教授、佐々木講師が参加しました。

これは、同大学が平成17年度に選定された文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)の報告会も兼ねていました。コラボレイティブ・マネジメント型情報教育は、産学連携により、産業界の人材と学生の両方を育成する優れた手法です。3月のLTセミナーで紹介しました。

◆ 第3回 GLOBE-NIME国際セミナー 報告

2月14～15日に、メディア教育開発センター主催による第3回GLOBE-NIME国際セミナーが、日本科学未来館において開催され、本学からはLT開発室 古川助教と及川技術職員が参加しました。

本セミナーでは、学習コンテンツの国際的な流通再利用の持続性やサービスの品質保証などについて、講演およびディスカッションが行われました。

上記3件についての詳しい報告はLT開発室のウェブサイトをご覧ください。

■ WebCT Tips ～課題の一括ダウンロード、フォルダ名の変更～

WebCTに提出された課題を一括ダウンロードしたい。ダウンロードした課題フォルダ名が文字化けしてしまう。課題フォルダ名を学籍番号(ユーザID)にしたい。今回は、そのような時に役立つTipsを紹介します。

◆課題の一括ダウンロード

課題提出箱から、「印刷用表示」を実行し、「ファイルに保存」すると、答案がまとめられた zip ファイルが、「マイファイル」に作成されます。それをダウンロードすれば、一括ダウンロードができます。ただし、zip ファイルをWindows上で解凍すると文字化けしてしまいます。

◆課題フォルダ名の文字化け対処方法

WebCTとWindowsで基本の文字コードが異なる

ため、圧縮ファイルを解凍すると、文字化けしてしまいます。

WebCT上でzipファイルを展開し、WebDAVを使ってコピーをすると、文字化けしません。

◆課題ファイルのフォルダ名の一括変換

課題ファイルをWebCTからダウンロードすると、「課題名 - 氏名(ユーザID) - ××××」という名前で自動的にフォルダが作成されます。このフォルダ名を「ユーザID-名前」に一括変換する方法です。『FlexRena730』というツールを使って変換を行います。

各手順はWebCT FAQページをご覧ください。

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/tools/webctce6/faq.html>

WebCT活用授業レポート

小テスト機能を使って学習を促している活用例

今回は、理工学部の佐々木茂先生にお話をうかがいました。佐々木先生はWebCT導入当初から活用されている方のお一人です。

LT どのように使われているのでしょうか。

佐々木先生 「基礎工学実験」「情報科学演習」「プログラミング3」など、いくつかの授業で、使っています。授業の時間の中で演習をする科目が多いですが、座学の科目としては、「数値解析法」で小テスト機能を使って学習のポイントを示しています。毎週の授業ごとにWebCTに小テストを準備し、1週間だけ受験できるように設定しています。学生はその間、何度でも解答できます。この小テストの問題の中から、定期試験に出題しているので学生たちも真剣にとりくんでいるようです。

LT 何度でも解答できるテストとは、どういったものなのでしょうか

佐々木先生 テストを解くことによって勉強すべきポイントがはっきりしてきます。この点がとてもよいと思いますね。学生は自分が今何点取れたかすぐにわかるので、自分の理解度がだいたい把握できます。理解が進めば点数が上がるので、努力した結果が目に見えるというところがやる気を引き出しているようです。

授業中はパワーポイントのスライドを使って説明

しますが、次のスライドに進んでも参照できるように、紙のプリントもあわせて配布しました。同じものをWebCTに載せているので、小テストを受けている途中でわからないところがあると、そのままWebCT上で見るすることができます。この「プリントを見ながら問題を解く」ことが両方ともWeb上でできるところが、今の学生にとっては便利なようです。このテストは試験直前に公開して、再度復習ができるようにしています。

LT なるほど。テストを受けつつ勉強するということですね。

佐々木先生 そのほか、ソースコードも載せています。テキストのプログラムコードがFORTRANなので、それを独自にC++に書き換えました。以前は自分でつくったWebページにこのソースコードを載せていたのですが、WebCTを使うようになってスライドや小テストを付け加えました。その最初の年は、授業後にスライドを公開していましたが、2年目からは事前に公開して予習ができるようにしています。必要に応じて学生が参照できる点がよいかと思えます。

LT 「必要に応じて」というところが、ポイントですね。どうもありがとうございました。

編集後記 今年は暖かくなったと思ったら、いきなり寒くなったりと気候が安定しないですね。毎日、何を着ていこうか悩んでしまいます。みなさまも体調管理にはお気をつけ下さいませ。さて、年度の移り変わりですので、昨年度の報告を少々させていただきます。昨年度は授業の設計やWebCTを活用する方法についてのLTコンサルテーションが21件、WebCTを活用した授業が、大学全体で139科目ありました。今年度もみなさまからのご連絡をお待ちしております。(及川)



ラーニングテクノロジー開発室連絡先 <http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 202室 028-627-7243 (直通)

◇室員：武井 恵雄(室長)，渡辺 博芳，古川 文人，高井 久美子，及川 芳恵

◇一般的なお問合せ：LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇技術的なサポート：LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

